

# ネームスペースの変更方 法

Version 5.1  
2006-03-14

## ネームスペースの変更方法

Caché Version 5.1 2006-03-14

Copyright © 2006 InterSystems Corporation.

All rights reserved.

このドキュメントは、Sun Microsystems、RenderX Inc.、アドビ システムズ および ワールドワイド・ウェブ・コンソーシアム (www.w3c.org) のツールと情報を使用して、Adobe Portable Document Format (PDF) で作成およびフォーマットされました。主要ドキュメント開発ツールは、InterSystemsが構築したCaché と Javaを使用した特別目的のXML処理アプリケーションです。



Caché 製品とロゴは InterSystems Corporation の登録商標です。



Ensemble 製品とロゴは InterSystems Corporation の登録商標です。



InterSystems という名前とロゴは InterSystems Corporation の登録商標です

このドキュメントは、インターシステムズ社(住所: One Memorial Drive, Cambridge, MA 02142)あるいはその子会社が所有する企業秘密および秘密情報を含んでおり、インターシステムズ社の製品を稼動および維持するためにのみ提供される。この発行物のいかなる部分も他の目的のために使用してはならない。また、インターシステムズ社の書面による事前の同意がない限り、本発行物を、いかなる形式、いかなる手段で、その全てまたは一部を、再発行、複製、開示、送付、検索可能なシステムへの保存、あるいは人またはコンピュータ言語への翻訳はしてはならない。

かかるプログラムと関連ドキュメントについて書かれているインターシステムズ社の標準ライセンス契約に記載されている範囲を除き、ここに記載された本ドキュメントとソフトウェアプログラムの複製、使用、廃棄は禁じられている。インターシステムズ社は、ソフトウェアライセンス契約に記載されている事項以外にかかるソフトウェアプログラムに関する説明と保証をするものではない。さらに、かかるソフトウェアに関する、あるいはかかるソフトウェアの使用から起こるいかなる損失、損害に対するインターシステムズ社の責任は、ソフトウェアライセンス契約にある事項に制限される。

前述は、そのコンピュータソフトウェアの使用およびそれによって起こるインターシステムズ社の責任の範囲、制限に関する一般的な概略である。完全な参照情報は、インターシステムズ社の標準ライセンス契約に記載され、そのコピーは要望によって入手することができる。

インターシステムズ社は、本ドキュメントにある誤りに対する責任を放棄する。また、インターシステムズ社は、独自の裁量にて事前通知なしに、本ドキュメントに記載された製品および実行に対する代替と変更を行う権利を有する。

Caché および InterSystems Caché、Caché SQL、Caché ObjectScript および Caché Object は、インターシステムズ社の商標です。

ここで使われている他の全てのブランドまたは製品名は、各社および各組織の商標または登録商標です。

インターシステムズ社の製品に関するサポートやご質問は、以下にお問い合わせください:

InterSystems ワールドワイド カスタマサポート

Tel: +1 617 621-0700

Fax: +1 617 374-9391

Email: support@InterSystems.com

# 目次

ネームスペースの変更方法.....	1
1 ネームスペースと Caché ターミナル .....	2
2 アプリケーション内でのネームスペースの変更 .....	2
テーブル一覧	
先行定義のネームスペース .....	2



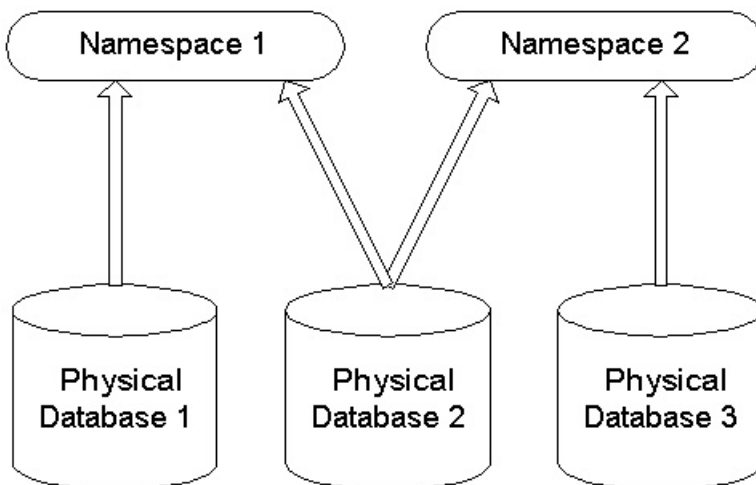
# ネームスペースの変更方法

Caché データはデータベースに保存され、ネームスペースを経由してアクセスされます。

データベースとは、さまざまなクラス (オブジェクト用語) からのデータや、さまざまなテーブル (リレーショナル用語) からのデータなど、多様な種類の情報からなる 1 つのファイルです (実際は複数のファイルである場合もありますが、説明が複雑になるのでここでは省略します)。

ネームスペースは、1 つ以上のデータベース内の、データの論理ビューです。ネームスペースとデータベース間の 1 対 1 の通信が最も簡単な例です。しかし実際使用する際には、複数のデータベースのデータへアクセスできるネームスペースを定義するとさらに強力になります。

任意の Caché システムは複数の “ネームスペース” を持ち、それぞれが 1 つ以上の物理データベース内に保存されている異なるデータの論理ビューを提供します。以下はその図です。



Caché には、以下のようにあらかじめ定義されたネームスペースが用意されています。

先行定義のネームスペース

ネームスペース	コンテンツ	新しいバージョンの Caché がインストールされた場合
%CACHELIB	組み込みクラスの定義のような、Caché システムのコンポーネント	置換されます
%SYS	システム管理情報およびユーティリティ	保持されます
SAMPLES	サンプル・コードおよびアプリケーション	置換されます
USER	インストール時は空です。通常アプリケーション開発に使用します。	保持されます

# 1 ネームスペースと Caché ターミナル

Caché ターミナルを使用して Caché システムと対話するとき、コマンド・プロンプトは現在のネームスペースを表示します。

```
USER>
```

Caché ObjectScript の ZNAMESPACE コマンド (省略形は ZN) を使用して、コマンド行から異なるネームスペースに切り替えることができます。

```
USER>
USER>ZN "SAMPLES"
SAMPLES>
```

ZNAMESPACE コマンドに、移動先のネームスペースの名前を引数として文字列を 1 つ記述します。無効なネームスペース名を入力すると、ZNAMESPACE は <NAMESPACE> エラーを返します。

また、%CD (ディレクトリの変更) コマンド行ユーティリティが提供する単純なユーザ・インタフェースを使用して、変更先のネームスペースを指定できます。プロンプトに “?” を入力すると、%CD は利用できるネームスペースのリストを提供します。

# 2 アプリケーション内でのネームスペースの変更

アプリケーション内で、\$ZU(5) システム・コマンドを使用して、現在のネームスペースを指定できます。

```
Write $ZU(5)
```

ZNAMESPACE コマンドを使用して、アプリケーション内から異なるネームスペースに切り替えることができます。

```
ZN "SAMPLES"
```

アプリケーション内でネームスペースを変更するときには、注意が必要です。特に、オブジェクトと SQL コードは 1 つのネームスペースで動作しているとみなすため、オブジェクト・インスタンスや SQL カーソルをオープンしたままネームスペースを変更すると、コードが正常に実行されません。通常は、さまざまなオブジェクト、SQL、および CSP サーバは、アプリケーション・コードを正しいネームスペースで実行するように自動的に確認するため、特に注意を払う必要はありません。ネームスペースの変更は、(他のコマンドに比べ) かなりコストが高い処理なので、アプリケーション・コードはできるだけこれを回避します。

